カルビーグループのDXロードマップ

2025年10月

Calbee

© Calbee, Inc.

DX戦略の全体像

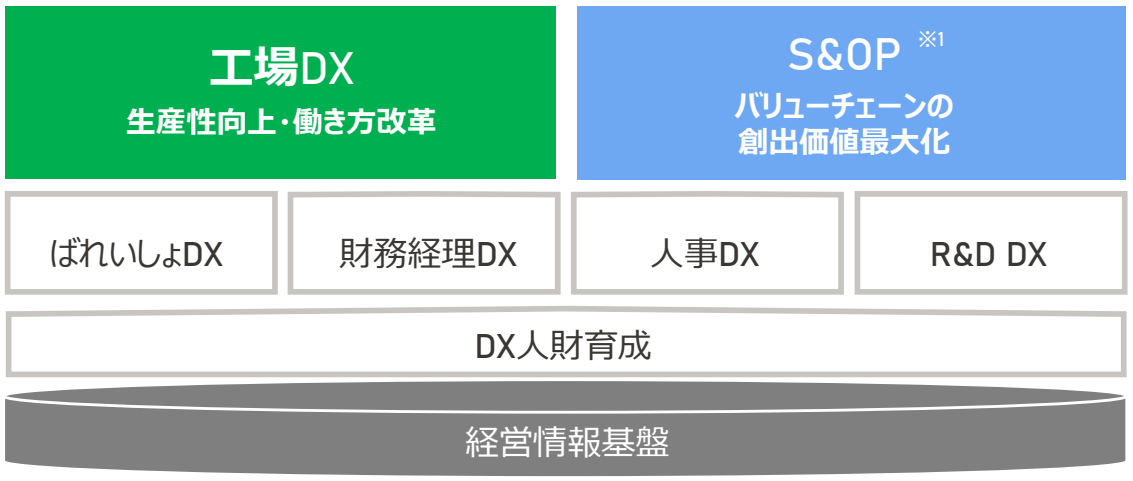
掘りだそう、自然の力。
Calbee

企業理念を実現しながら創業から100年を超えて成長する企業を目指して、デジタル・ITを通じて「変革」を興す

✓事業環境変化およびデジタル化の進展や情報流通の高速化に対応。

✓現場活動（生産・物流・営業・商品開発等）のデジタル化で得られる知見のスピーディーな活用。

2035年成長戦略スローガン
Accelerate the Future

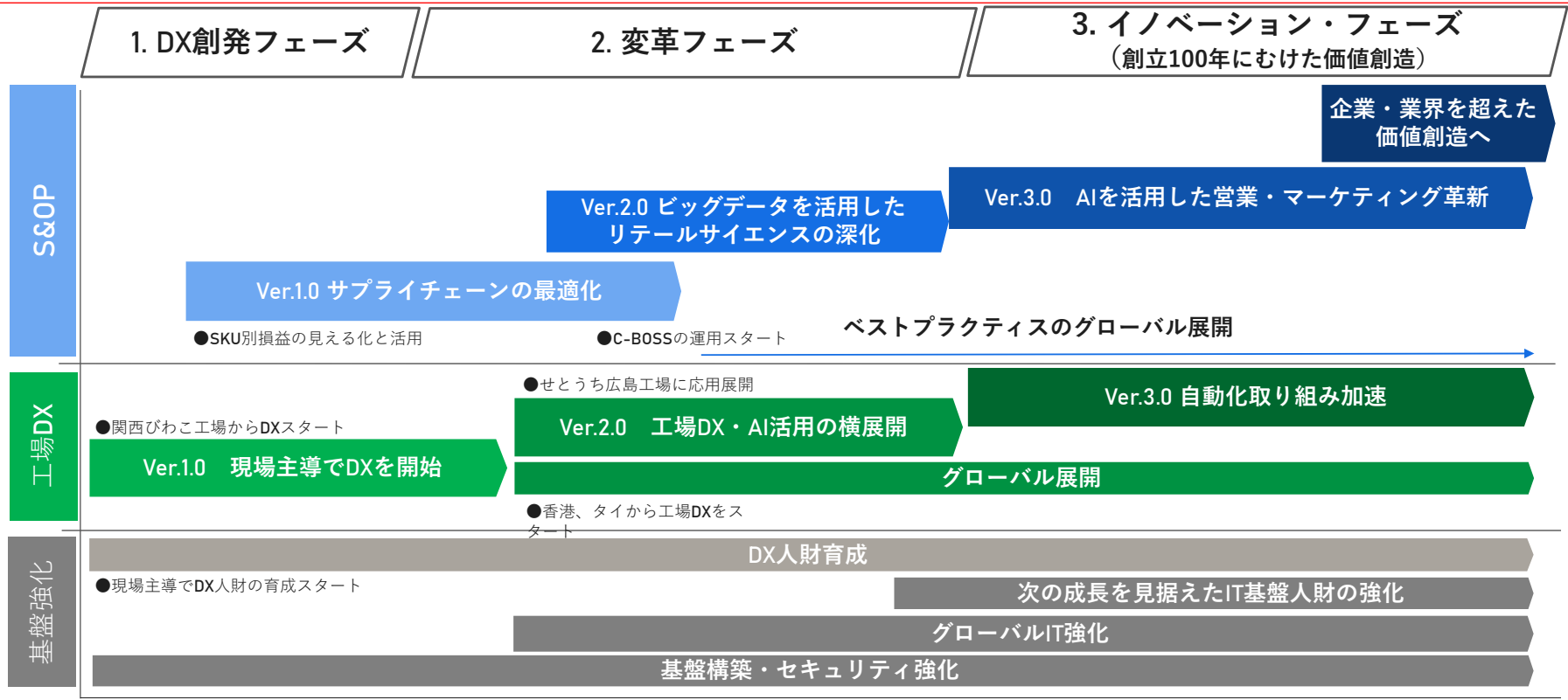


※1 S&OP：「Sales ＆Operation Planning」の略称

© Calbee, Inc.

2030年に向けたDXロードマップ

掘りだそう、自然の力。 Calbee



© Calbee, Inc.

S&OP（バリューチェーンの創出価値最大化）

2026年3月期に、今後の利益成長に資する「C-BOSS」（調達～供給までのサプライチェーン効率化システム）の本格運用を実現させる

- SKU別、得意先ごとのSKU別の損益可視化ツールを活用した収益改善活動を継続
- DXを活用したデータドリブンの迅速な意思決定プロセスにてサプライチェーンの効率化を進める
- 更なるバリューチェーンの最適化を目指して、マーケティングや営業の変革を促進する機能を検討

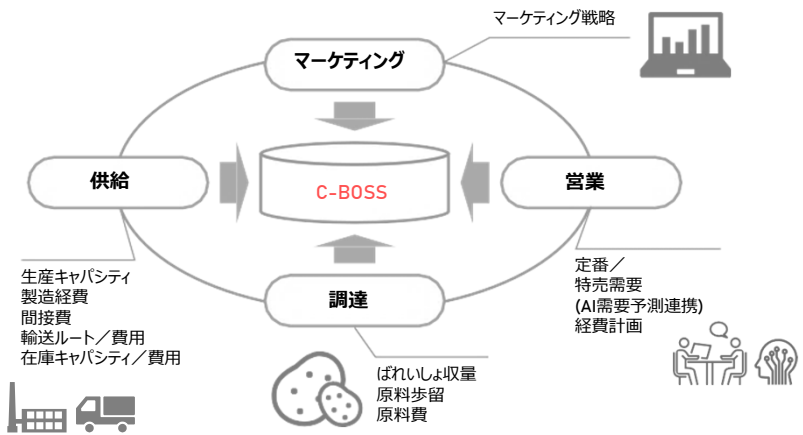
損益可視化 収益改善活動

- SKU別損益可視化
- 得意先別損益可視化
- SKU数の適正化

バリューチェーン最適化

- SCM最適化ツール構築
- 業務フロー変革
- チェンジマネジメント

バリューチェーン最適化システム (C-BOSS)※



※ C-BOSS：「Calbee Business Optimization Simulation System」の略称

© Calbee, Inc.

2030年に向けた情報システム方針・施策

掘りだそう、自然の力。 Calbee

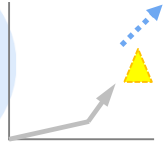
	経営方針	IT方針	主なIT施策
国内	量から質へ	•2030年、それ以降も安定利用できるIT事業基盤 •業務効率化のため、データ活用の基盤整備（国内）	事業基盤としてのIT基盤整備（含セキュリティ） 年数を経過したシステム刷新も含む
			効率化・DX推進（データレイク・活用基盤）
海外	売上構成比40%超へ	•グローバルのカルビー流IT統制（国内と現地の知見） •グローバルデータ基盤とコミュニケーションIT基盤 •セキュリティ対応	アプリ、インフラ データレイク・基盤とコミュニケーション基盤
			グローバルでのセキュリティ
			グローバルIT統制の枠組みと体制構築
新規事業	売上構成比10%へ •「アグリビジネス」 •「食と健康」	クラウド・SaaSも活用した安全・円滑な導入および運用	新規事業迅速立ち上げに向けたIT支援 （ガイドライン・体制整備）
			国内グループ会社IT支援 （馬鈴薯・甘藷事業のIT基盤と運用体制）
共通基盤（人）		IT部門と事業部門の両方にIT人財を配置	DX推進のためのIT人財を事業部門と共に育成

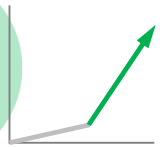
© Calbee, Inc.

DXの中長期ビジョン

掘りだそう、自然の力。 Calbee

		イノベーション・ビジョン	KPI
S&OP	施策	DXを併せたS&OPによる効率化推進 → 販売・マーケティングAIによる収益効率向上 企業・業界を超えた枠組のDX施策 共配・営業シェアリング・商品開発・チャネル最適	一人当たり売上高営業利益の劇的向上 線形イールドを超えたイノベーションによるリターン
工場DX	施策	工場DX効率化推進 → 工場ラインの自動化による生産性の向上	一人当たり生産量の劇的向上



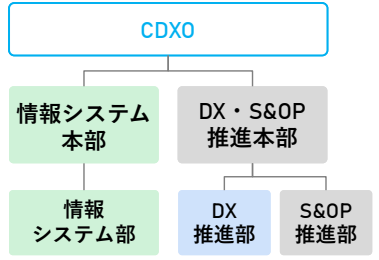


Beyond 2030 中期的課題　常態化する人財不足

情報システム	施策	IT基盤整備・運用 → 3つのフォーカスエリアへ最新知識を活用 ① IT基盤拡張統合推進（国内） ② グローバルIT統制整備（海外） ③ セキュリティ基盤整備・運用	フォーカスエリア施策推進件数

Beyond 2030 中期的課題　必要要求レベルの逓増化・加速化

組織体制



© Calbee, Inc.

工場DX（生産性向上・働き方改革）の標準導入ステップ

掘りだそう、自然の力。 Calbee

導入のコスト

●機器からの
直接データ取得

●オンラインNIR

●自動運転

DataRobot

●データ分析活用

●PLC データ取得

●画像処理

●電子帳票

●温度可視化

●業務自動化

● IoTダッシュボード

JMP STATISTICAL DISCOVERY

●データ分析活用

導入の難易度

- ✓ 工場DX導入ステップ標準化し、期待効果も明示
- ✓ DX人財の育成と共に工場DX導入スピードを加速
- ✓ 25年度から各工場の工場DX導入状況をKPI化・可視化

工場の要望、必要性も加味して、導入ステップを個別検討

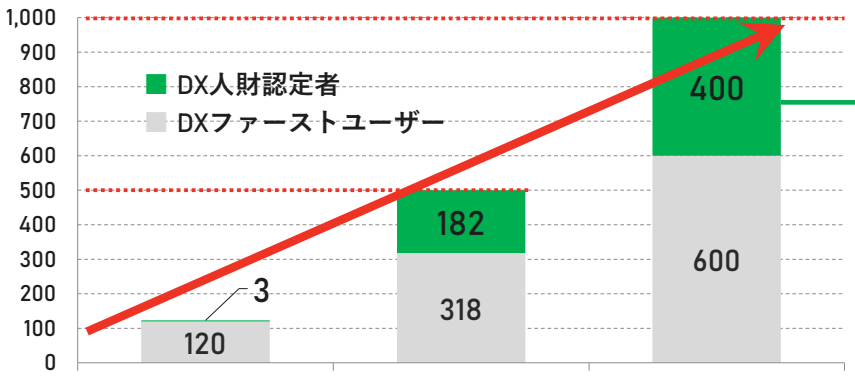
進化した場合、メニューの追加有

© Calbee, Inc.

2030年に向けたDX人財の育成プラン

掘りだそう、自然の力。
Calbee

2030年度に500名のDX人財を目指す



2024年
DX人財
123人
2024年9月時点

2030年
DX人財
500人体制
（うち認定者182名）

2040年
DX人財
1000人体制
（うち認定者400名）

DX人財認定者

✓スキルに応じた4カテゴリー

- DX シニアマスター
- DX ジュニアマスター
- ジュニアデータサイエンティスト
- DX プロユーザー

工場DXの推進・工場DX人財の育成を目的として「AIアカデミー」を2024年4月に西日本で立ち上げ
選定メンバーの活動期間は2年　▶2025年度には東日本にも拡大予定

© Calbee, Inc.

掘りだそう、自然の力。

Calbee